

# ＜事業所全体による自己評価＞ R2.11.14実施

## おほしさま園

項目	選択した理由	現状分析	解決目標	解決方法	期限	経過
<p>・いちばん星で策定している緊急時対応マニュアル・災害マニュアル等に沿った訓練が行われていますか。</p> <p>・非常災害の発生に備え、療育の中で定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行</p>	<p>保護者への周知ができていなかったため</p>	<p>・いちばん星全体での、避難訓練は定着してきている</p> <p>・グループの中でも取り組んでいる</p>	<p>避難訓練を定期的に行い、保護者に周知する</p>	<p>・毎月、実施日時を園だよりの中でお知らせし、おほしさま園全体で取り組んでいく</p> <p>・災害時の対応などを具体的に保護者にお知らせする</p>	<p>1年</p>	<p>・避難訓練の予定を、グループだよりに書き込んで周知した</p> <p>・避難訓練の内容など具体的な内容について伝えられていない</p>
<p>・定期的に保護者に対して面談や発達支援に関する助言等の支援が行われていますか</p>	<p>「面談」の時間として周知してもらうように</p>	<p>・モニタリングや次年度に向けての面談は実施している。</p> <p>・職員間では、モニタリング時間や相談に対しての面談時間として周知できている。しかし、保護者に対しては、日時や「面談」と明確にお伝え出来ていない。</p> <p>・保護者によっては、いつ、どこで、誰に相談した方がいいのか分からない。(みんながいるから？先生、忙しそう、こんなこと相談んしていいのかな・・・、タイミングを逃した・・・等)</p> <p>・「面談時間」としてははっきりした時間が事前にあった方が、保護者も、相談したいことを考えやすいのでは？</p> <p>・職員が、相談に対して即答できないこともある。</p> <p>・もっと、じっくり話を聞いてあげたい。</p>	<p>定期的に保護者との面談を行う</p>	<p>・全員面談時間(〇日〇時～)を決める。</p> <p>・モニタリングを行う際は、保護者に対して、「面談を行う」ことを明確に伝える。</p> <p>・夏に1回面談週間を設定する。(きらきら+面談)</p> <p>・8月の夏休み期間に設定したい。</p> <p>・ラインによる相談は、直接お会いして具体的にお話を聞くようにする。(その方が助言がしやすい。)緊急時は、ライン、お電話にて対応する。</p> <p>・モニタリングの際は、保護者に「面談を行う」ことを明確に伝える。</p>	<p>1年</p>	<p>・個別の面談は前年度よりも頻度を設けている</p> <p>・具体的な家庭の取り組みを聴取できている場合とそうでない場合がある</p> <p>・家庭での取り組み方まで汎化できていないことがある</p>
<p>・療育空間は、子ども達に分かりやすく構造化し、工夫された環境になっていますか</p> <p>また、バリアフリー化の配慮がなされていますか</p>	<p>子どもたちが安心して活動できるように</p>	<p>・行動の抑制が効かない子どもたちに対して、危険が多すぎる。(自動ドア、扉がかたい、机がグラグラする、安定しない)</p>	<p>設備や環境の不具合を見つけた時、報告し改善してもらう</p>	<p>・子どもたちが、使いやすい道具かどうかを注意してみる。</p> <p>・危険な場所、道具を確認する。</p> <p>・危険につながりそうなことは報告をする。</p> <p>・改善策を提案していく。</p> <p>・必要に応じて、社長に購入を依頼する。</p>	<p>1年</p>	<p>・自動ドアの手前に透明の亚克力板をいれ、手を挟まないように改善された</p> <p>・扉のかたさについては気づいた時にオイルをさすなどお手入れをしている</p> <p>・物品等について、危険なものについては報告し、修理、購入にいたった</p> <p>・療育前に環境のチェックを行い、ケガをする可能性がある箇所には、タオルを巻きつけるなどして対応している</p>